

# 平成29年度 和光市立白子小学校 第2回学校運営協議会 議事録

平成29年5月29日（月）  
午前10時～午前11時20分  
和光市立白子小学校 PTA 会議室

出席者 鳥飼 昭男委員、富澤 昭憲委員、牧 江利子委員、榎本 克実委員、金井 良浩委員  
富澤 隆司委員、久保田砂苗委員、小澤紀代枝委員  
西 貴美雄、坪谷 孝雄 （10名）

1 開会のことば（教頭 坪谷 孝雄）

2 学校長あいさつ（校長 西 貴美雄）

3 報告

(1) 平成29年度当初人事異動について

(2) 第1学期の運営状況について

携帯電話やスマホ等情報機器の適切な活用を促すため外部講師による講演「情報セキュリティ教室」を5・6年生対象に6月30日に計画していることを説明した。

4 協 議 （進行…会長）

**(1) 今年度の学校課題研修に係る家庭、地域と連携した道徳教育の推進について**

**校長より今年度の学校課題研究の内容、今後の計画等について報告し、委員よりご意見をいただく。**

◇4月24日の研修会の参加対象と研修内容について説明してほしい。

⇒全教員が全員参加し、講師から新しい学習指導要領と現行の指導要領の違いや「特別の教科 道徳」で求められている評価についてご指導いただいた。

◇資料には低学年から高学年までの指導項目が時系列で示されているが、子ども達はどれぐらい理解できているのか。チェックは一年間にどの程度行っているのか。

⇒道徳の授業では数値による評価は行っていない。授業を通して子ども達がどのようなことを感じ取ったのか、どういう行動をとることが望ましいのかということを授業の終末で確認して終了している。

◇いろいろな個性があってよいだろうから、自分の個性を大切にさせたい。

◇道徳については昨年からの報道もよくされている。私も勉強しているが、白子小学校の児童の重点項目を検討していくという説明だった。運営協議会や地域の皆さんのご意見を踏まえて作成していくことと思われる。

⇒本日の資料として今年度の道徳教育の全体計画を示している。研修を進めるにあたっては、子ども達がどんなことを考えているのか、保護者のみなさんはどんなことを考えているのか、地域のみなさんはどんなことを考えているのか、ということをもとに学校として把握して、計画を見直していこうと考えている。

◇子どもらしさを失わせるような規制をかけることは好ましくない。子どもは、元気であり、明るく、ちょっとした失敗も誤った行動をとることもあるものだ。それを自分自身で気づけるような方向に導

いてもらえるような内容にしてほしい。すべての子どもがまるく収まるような方向にはしてほしくない。その子その子の個性があるのだから伸ばしてあげられるようにしてほしい。個性が生かされ役割が生まれることもある。難しいとは思いますが、絶対にこれをしてはいけないと規制をかけるのではなく、なぜそのようになるのかということを考えさせて、自身の振り返りを通して行動を変容させるようなシステムであってほしいし、教師の指導であってほしい。

- ◇登校の様子を見たことがある。低学年はあいさつをよくしていたが、高学年は今一步のようだ。保護者が付き添って登校しているときはあいさつもよくできる。道徳の内容項目は膨大であり、すべてを望むことは難しいのではないかな。
- ◇子どもらしく元気な子、いろいろな子どもがいるがあいさつができる子ども、他にも望むことはたくさんあるが、あえてあげるとすればこのような子どもだろう、簡単なことでもいかに実行できるかがポイントではないだろうか。
- ◇失敗したことについて対処の方法が考えられるとよい。失敗することがいけないのではなく、失敗したことによって何を学ぶかが大事ではないかな。思いやりという項目があるが、人によって思いやり方は異なってくるだろうし、ケースバイケースでもある。教科書では、思いやりはひとつしかないような気がするが、人によって、場面に応じて対応は異なってくるというところまで子ども達には伝えていきたいと思う。
- ◇習い事などがあり子どもだけで遊んでいる姿をあまり見かけない。家庭の考え方も異なっているので、一概にあいさつの場面だけを取り上げて、あいさつができる、できないと言うのは難しい。学校の中では子ども達はよくあいさつをする。学校の外では、それがほんの一部になってしまう。服装が違うだけでも反応が違うし、こちらからあいさつしてもきよとんとされることもある。子ども達にとっては別人に見えてしまうのかもしれない。
- ◇テーマが広すぎて、どこから話したらよいか戸惑うが、子どもはそれぞれがおかれた状況も異なるし、立場も違うだろう。いろいろな子どもがいてよいということを受け止められるような子ども集団であってほしい。具体的な取組を述べることは難しいが、自分自身を大切に、他人のことも大切にできる子どもに育ててほしいと思う。第一歩はあいさつなどの基本的な生活習慣づくりだろうが、大人が示していかなければならない。大人でもできない人も多い。あいさつにしてもよく知っている人と地域の人では違ってしまうことも理解できる。頭ではわかっているけど行動に移しにくいこともあるだろう。子どもがあいさつをしなければ、こちらからアプローチすることによって、子どもの認識も深まり、声も出てくるのではないだろうか。あいさつをしなければいけませんよと言っただけでは、身につけてはいかないだろう。こつこつと取組む必要があるのではないかな。
- ◇夕方には子どもは何とあいさつするのだろう。近所の方は「おかえり」と声をかけている。子どもは「ただいま」と返している。遅くなって帰ってきたときのあいさつの仕方が子どもにはわからないのではないかな。
- ◇道徳の評価は難しい。ほめることを前提として考えていきたい。
- ◇指導する側はいかに子ども達の主体性を引き出すかが問われるだろう。学校目標達成のためには子ども達のモチベーションを高める教師の指導が大切だ。
- ◇道徳は一過性のものであればいけない。綿々と続けられていくものだろう。
- ◇学校で教えていることと家庭で保護者が教えていることが全く逆になっていることもあるのではないかな。子どもはどちらを選んでいるのかわからないが、どちらが正しいとは言えないだろうが、整合性は必要ではないかな。誤ったことを教えることはいけないが、子どもは成長に応じて、エッセンスを

自分のものにしていくのではないか。学校と家庭、地域にも多少相違があるのだから、整えていくこともよいのではないか。

○いろいろとご意見が出て、深められた。学校は、これらの意見を踏まえて、これからの研究を進めていってほしい。 **(委員の皆様のご意見を研究に生かすこととした。)**

## **(2) 児童、保護者、地域の道徳性の把握について**

**校長より今年度の学校課題研究を推進するための基礎資料として、地域のみなさんが考える道徳性アンケート実施についてお願いをした。**

◇アンケートは無記名でよいのか。

⇒無記名で結構です。

◇あくまでもアンケートだ。現在の白子小学校の子ども達だけでなく、将来をも考えて白子小学校の子ども達にこうなってほしいという考えを表すものでよいのではないか。このような説明があるとつけやすいのではないか。今の子ども達を見てと限定してしまうと難しくなってしまう。意見などを書く欄を設ければ協力しやすくなると思う。

◇あいさつをしているか、他人に対して親切にしているか等応えやすいものにしてほしい。

◇アンケート項目を見ると、密接な関わりのある方以外は答えにくいだろう。

◇地域によっては子どもの数が少ないところもある。6年生と1・2年制の通学班編制だ。この子ども達を見て、回答するのは難しい。

◇アンケート回答にあたっての説明書きを加えて、実施するとよい。

◇何かの会合の折に、依頼することはできる。一度やってみることがよいのではないか。

⇒白子小学校の子ども達に身につけてほしい内容をお尋ねしたい。選んでつける方もいらっしゃるだろうし、すべてつける方もいらっしゃるかもしれない。

◇わかりやすい説明を記載していただきたい。

**(委員の意見を踏まえてアンケートを見直し、調査に協力していただくことを確認した。)**

## 5 連絡

- (1) 第1学期学校公開について案内
- (2) 学校運営協議会委員による学校訪問日の設定
- (3) 第6回学校運営協議会開催予定日の変更

## 6 その他

## 7 閉会のあいさつ (久保田副会長)